



「船橋明るい会」が6月の市長選挙に向けて市民に呼びかけました。
II 12月26日・JR船橋駅北口

「明るい船橋民主市政の会」(船橋明るい会)が6月の市長選挙に向けて12月26日、船橋駅で宣伝を行いました。

「船橋明るい会」は、市長選挙を通じてそれぞれの要求を実現しようと市内の労働組合や市民団体、政党では日本共産党も参加して結成。これまでの市長選挙でも候補者を擁立して選挙戦に挑み、子どもの医療費無料化、保育園の増設、三番瀬の埋め立て計画白紙撤回など、様々な市民要求の実現を市民とともに進めてきました。

この日の宣伝では新たに作成した政策ビラを配りながら、船橋市が進めている市民負担増の「行財政改革」や無謀な海老川上流大規模開発をやめさせ、市民が払った税金が市民の暮らしのために使われるような市政をつくりましょうと呼びかけました。

「船橋明るい会」が宣伝

政府は1月からの通常国会に学級の上限人数を定める法律改正案を提出し、2021年度から5年間かけて、毎年1学年ずつ35人学級に移行させる計画です(上のグラフ参照)。

小学校全学年での引き下げは、1980年に小中学校の学級編成が45人から40人

日本共産党の、畠野君枝衆



「性暴力は許さない」とフラワー・デモ
II 12月11日・津田沼駅前

「性暴力は許さない」とフラワー・デモ
II 12月11日・津田沼駅前

「性暴力は許さない」とフラワー・デモ
II 12月11日・津田沼駅前

「性暴力は許さない」と声援を送り、性暴力の話をしながら通り過ぎるグ

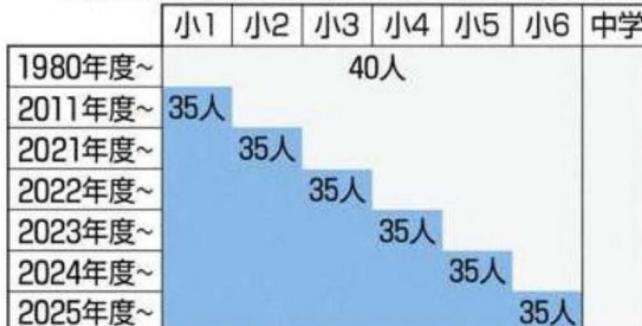
ループもいました。

金光さんは「性暴力を許さ

ず、被害者をひとりにしない

で、勇気をもてるよう寄り添いたい」と話しました。

公立小中学校の学級上限人数の推移



「35人」へ5年間で段階的に移行

共産党が少人数学級などでシンポ

公立小学校の1学級の人数を2025年度までに全学年35人以下に引き下げることが決まりました。新型コロナの感染拡大を機に、かつてなく高まつた少人数学級を求める世論と運動が、長年固く閉ざされてきた扉を開けました。

一方、移行完了まで5年もかかり、中学と高校の少人数学級は盛り込まれないなど不十分で、さらなる取り組みが求められています。

院議員がパネリストを務め、齊藤和子前衆院議員が司会を担当しました。

院議員がパネリストを務め、イン授業の負担も年間40万円になります」と訴えました。

学級を実現するには、先生が型は利息が発生して負担が増える。学費だけでなくオンライン授業の負担も年間40万円になります」と話しました。

公立小学校で35人以下の学級への移行決定

イトができず、奨学金の貸与型は利息が発生して負担が増える。学費だけでなくオンライン授業の負担も年間40万円になります」と話しました。

学級を実現するには、先生が型は利息が発生して負担が増える。学費だけでなくオンライン授業の負担も年間40万円になります」と話しました。

「性暴力の被害者をひとりにしない」津田沼駅で「フラワー・デモ」が行なわれました

JR津田沼駅北口で12月1日、「フラワー・デモ@chiba」が

代表の金光理恵さんは全国でリデモリが広がるきっかけになった事件を紹介し、「勇気を出して性暴力被害を告発しても裁判で無罪になるのは許せない。一緒に性犯罪を考えよう」と呼びかけました。

参加者のリレートークでは「学校で教員から受けた性暴力に、他の教員から見ぬふりをされた」「被害についておけ」と両親から言われ、30年生き地獄だった」「男

か里ましたが、何としても少人数学級の扉を開きたい」「萩生田文科大臣は40人学級の見直しに言及し不退転の決意で頑張ると表明している。少

人学級実現まであと一歩まで頑張る」と述べました。小学校教諭は「分散登校で少人数学級になり、生徒が『質問しやすい』と言っている。

千葉県で20人程度の少人数

さらに20人程度の学級にしたい



親が先生が未来を考えるシンポジウム
II 12月12日・きららホール